

令和5年度第1回焼津未来創生総合戦略推進会議 議事録

- 1 日 時 令和5年6月29日(木) 13時00分～14時30分
- 2 会 場 焼津市役所 会議室7A
- 3 出席委員 太田 隆之委員(静岡大学 人文社会科学部教授)
岸 昭雄委員(静岡県立大学 経営情報学部教授)
木戸 直美委員(静岡福祉大学 子ども学部 講師)
白石 一二朗委員(焼津漁業協同組合 常任理事)
村松 文次委員(焼津商工会議所 専務理事)
中野 俊光委員(大井川商工会 事務局長)
中野 裕治委員(社会福祉法人焼津市社会福祉協議会 大井川支所長)
稲森 智志委員(しずおか焼津信用金庫 お客様サポート部 副部長)
西田 吉輝委員(株式会社静岡銀行焼津支店 支店長)
福田 雄吾委員(株式会社清水銀行焼津支店 支店長)
齊藤 奈津子委員(島田掛川信用金庫 地方創生部 副部長)
飯妻 宏典委員(焼津公共職業安定所 所長)
高谷 正道委員(公募)
橋ヶ谷 有沙委員(公募)
鈴木 史朗オブザーバー(静岡県中部地域局長)
土肥 慎市オブザーバー(特別デジタル専門監)
- 4 欠席委員 望月 忠委員、川内 十郎委員
- 5 事務局 石原行政経営部長、海野行政経営部次長兼政策企画課長
齊藤政策企画担当主幹、望月政策企画担当係長、原田政策企画担当
株式会社富士通総研) 鍋島、河野
- 6 開 会
 - ・今年度委嘱となった委員及びオブザーバーへ委嘱状の交付を行った。
 - ・石原行政経営部長より開会あいさつを行った。
 - ・会長の選任は互選の結果、太田隆之委員に決定した。
 - ・太田会長の進行により、議事に入った。

7 議 題

(1) 第2期総合戦略の人口等現状数値について

【事務局説明】

→資料1及び参考資料参照

【質疑応答】

(委員)

・資料1及び参考資料にて日本人・外国人ごとに分析をしている。今後どのようにアプローチしていくのか。

(事務局)

・今年度、データを分析しエビデンスに基づいてターゲットを絞っていく。焼津市では外国人を外国につながる市民として、日本人と分け隔てなく焼津で暮らせるよう環境整備をする考えである。外国人の方に選んでもらえるまちを目指す。日本人の方にもいろんな地域から焼津に移り住んでもらいたいと考えている。

(委員)

・外国人が増えて社会増になっているとのことだが、日本で勉強して国に帰る方と、その後も焼津市民として住み続ける方どちらが多いのか。

(事務局)

・これから詳細にデータを分析した上で、外国につながる方々への政策を検討していきたいと考えている。

(委員)

・子育て世代の人口が増えているという報告だった。どの施策が効果的だったのか教えてほしい。

(事務局)

・焼津市では子ども医療費助成、保育所の第二子半額・第三子無償化、妊娠出産サポートなど様々な施策を講じている。どの施策が一番効いているのかは分析しきれていないが、総合的に効果が出ていると考えている。

(委員)

・転入された方に、焼津市のどういうところが魅力だったのか調査することで長所を活かしていくことができると考える。

(事務局)

・調査を検討する。一番効果が出ている施策をさらに高めていくことも必要と考えている。

(委員)

・資料1 4ページの企業誘致数について、誘致した会社名や業種・規模を教えてもらうことは可能か。

(事務局)

・手元に資料はないが補助金を活用して土地を購入した製造業、物流業の企業と考えている。

(委員)

・参考資料④にて焼津市と藤枝市の間での転入出数がほぼ同数との説明があった。その要因はつかめているか。

(事務局)

・分析しきれていないが、令和3年度以前は藤枝市に転出する方が多かった。藤枝市では地価や住宅にかかるコストの問題で、西焼津や六合に移り住む方が多くなったと考えているようである。

(委員)

・藤岡市は駅徒歩30分圏内の宅地が少なくなっている。焼津市は宅地開発が進み格安な宅地があるが、それでも同数が藤枝市に転出している状況。周辺自治体との情報交換や分析は徹底的に行った方がよい。

(委員)

・浜北区には人口が流入している。要因は浜松ICの開設や大規模なショッピングセンターができたことだと考えている。加えて地価が安くいたところで分譲している。さらに障がい者向けの小中高一貫の施設もできた。焼津市も連続した区画整理の意思決定をすることが重要だと考える。

(事務局)

・ご意見を踏まえて検討する。

(2) 令和4年度事業の実施実績及び令和5年度地方創生関連事業等について

【事務局説明】

→資料2、資料3参照

【質疑応答】

(委員)

・資料3 2ページの「困りごとマルっとサポート事業」はどのような支援をするのか。

(事務局)

・7月28日に庁内でプロジェクトチーム立ち上げた。まずは複合的な要因で悩みを抱えている方、制度や法律の隙間にある悩みを抱えた方が相談できる体制を整える。相談を聞いた上で悩みに合わせて個別支援に支援していく。

(委員)

・資料2によると「出会いの場の創出」の施策が令和4年度に廃止になっている。廃止になった理由は何か。

(事務局)

・資料3 3ページ 2-①「出会い・結婚サポート事業」により違う形で事業を実行している。資料2の記載を見直す。

(委員)

・資料3 3ページ 2-⑦「出産・子育て応援事業」の予算額が大きいのは、充実し

たサービスを実施するということか。どういった取組なのか。

(事務局)

・事業費が大きいのは、国から交付金が出ている妊娠・出産時の給付金事業を実施するためである。本事業で0－2歳の全戸家庭訪問を行い支援の必要な家庭をしっかりと見つけていきたいと考えている。

(委員)

・資料3 10 ページ 4－⑦「全国カツオ祭りサミット」とはどのようなイベントで、いつ開催するのか。

(事務局)

・日本国内のカツオの水揚げが盛んな都市で持ち回り開催をしているイベントである。11月に開催を予定している。さらに翌日には、魚(とと)フェスというイベントも開催予定である。

(委員)

・魚フェスはどのような内容になるのか。

(事務局)

・内容は精査しており、開催場所は新港を予定していると聞いている。

(委員)

・焼津市の施設で結婚式を挙げることができるサービスや、焼津市の婚活イベントで成立した方は式の費用を安くするなどのサービスがあるとよいのではないか。

(事務局)

・若者に魅力を感じてもらう取組を検討する。結婚式へのあこがれを持ってもらう新しい形を考えていきたい。またご意見いただきたい。

(委員)

・焼津市は周辺地域に比べると産婦人科や小児科が整っていると思う。安心して子育てができるよう、本計画の中で子育てについても考えていければよいのではないか。

(事務局)

・焼津市立病院の強みは産婦人科・小児科であると考えている。病院の建替えに向けた経営強化プランの中でも産婦人科・小児科の強みについて触れ取組んでいると聞いている。所管課部門に加え財政担当部門においても病院の強みを活かした施策を検討していく。

(委員)

・子育てした経験から、一番お金がかかるのは大学に入学する18歳以上だと感じている。子どもを大学に進学させた時の施策もあれば子どもを産みたい気持ちになるのではないか。

(事務局)

・18歳からの支援は事業にできていないところの一つであると認識している。検討していきたい。

(オブザーバー)

・本日の会議の目的が見えづらかった。本会議の目的は今年度の焼津未来創生総合戦略の改定に向けて、委員の皆さんから意見をいただくことだと認識している。皆さん理解をされていて、報告を踏まえて今後焼津市が実施すべきことについて意見を出していただいたが、会議の大きな目的について冒頭に説明があるとよかった。本計画は令和2年度から始まり今年度で3年になる。ちょうどコロナの時期と重なり達成度には異常値があり、目標に達していないものも多かったのではないかと思う。異常値があるところは説明をつけくわえておけば意見が出やすかったと思う。今日は活発な意見が出ていい会議だった。次回以降も委員の皆さんから意見を出していただくためにも、資料が何を意味するのかを加えるともっと活発で的を絞った意見交換ができると思う。焼津市は人口増に向けて活発に取り組んでいる。焼津港のエリア開発やターントクルこども館も成功施設だと思う。デジタルの力を活用した取組も非常に活発である。これまでやってきたことを踏まえてさらにこんなことを伸ばしたらいいのではないか、という意見が出る会議になればよいと思う。

(オブザーバー)

・本日初めて参加し資料の多さを実感した。今後の人口減少に対してや、焼津市をよくしていくためには、新しい技術を使った取組も今後争点になると思う。委員の方々からは、デジタル的なものだけでなく、新しい取組も含めて意見をいただき、分かりやすく反映できればよいと思う。

(事務局)

・会議の実施内容についての説明が漏れていた。資料4にて説明する。
今年度は第2期焼津未来創生総合戦略を改定し、国のデジタル田園都市構想総合戦略の考え方を反映した地方版デジタル田園都市構想総合戦略を策定する予定である。3月末までに策定し公表する。策定に当たっては、富士通総研と委託支援契約を結んでいる。今年度は未来創生総合戦略本部会議を3回、推進会議を3回予定している。実務者会議でも施策を検討していく。今年度はワーキンググループを設置し人口ビジョンや施策を検討し計画に取りまとめていく。人口ビジョンや施策については10月頃に予定している第2回推進会議でご意見をいただきたいと考えている。各団体様にアンケート調査依頼することも出てくるかと思う。ご協力お願いしたい。

以上